

オンライン
開催

2020年度秋期グリーフケア公開講座

上智大学グリーフケア研究所

「悲嘆」について学ぶ

全世界では、思いがけない大災害や事故、テロへの恐怖と不安、個人的には、愛する家族や親せき、恩人、友人との死別や別離の苦しみ悲しみ、また、各自にとって大事な仕事やペットを失くした方々の悲しみに共感し、ともに歩めるために公開講座を開きます。

また、新型コロナウイルス感染防止対策として、今期の開催は Web 上でのオンライン開催となりますのでご承知おきください。

2020年

開講期間：10月15日(木)～12月3日(木) 全8回

開講時間：午後6時45分～午後8時15分(90分)

主催：上智大学 グリーフケア研究所

応募期間：2020年10月1日(木)まで

募集定員：400名(定員に達し次第締切り)

受講料：20,000円

参加条件：Web会議システム「Zoomミーティング」を使用しますので、PCやタブレット端末等を利用してZoomへの接続が可能な方

講座スケジュール

開催日	講師名 (敬称略)	テーマ
10月15日(木)	高木 慶子 上智大学グリーフケア研究所 名誉所長	新型コロナウイルス感染の時代にあって —改めて悲嘆を考える—
10月22日(木)	高橋 美佐子 朝日新聞 記者	「子どものいない人生」に号泣した夜 ～時代に翻弄された1女性として～
10月29日(木)	アガスティン・サリ 学校法人上智学院 総務担当理事 上智大学 総合グローバル学部 教授 イエズス会 神父	暴力紛争における人々の喪失感と悲嘆
11月5日(木)	高宮 有介 昭和大学 医学部 医学教育学講座 教授	コロナで喪失した悲嘆のケア ～医師の立場から、必要なのはセルフケア、マインドフルネス～
11月12日(木)	山岡 義生 社会医療法人美杉会 男山病院 名誉院長 京都大学 名誉教授	病者に寄り添える力をお与えください
11月19日(木)	西尾 温文 順天堂大学 医学部 緩和医療学研究室 協力研究員 一般社団法人The Egg Tree House 代表理事	家族と死別した子どもたち
11月26日(木)	加藤 一二三 日本将棋連盟所属 プロ棋士 九段 仙台白百合女子大学 客員教授	高木慶子との対談 人生の中での谷から山への道を、どの様に登りつか
12月3日(木)	柳田 邦男 ノンフィクション作家	絵本の力、湧き出ずる再生の力

●講座の開催について変更が生じることも予想されます。予めご了承願います。

悲嘆について学ぶ



コーディネーター
上智大学グリーフケア研究所
名誉所長 高木 慶子

「悲嘆」について考えます時、多くの場合は、愛する家族や親せき、友人、恩人との死別体験者のことを考えますが、実は悲嘆状態は、狭義の意味では確かに死別による悲嘆状況が最も重い状態ですが、広義の意味では、只今の全世界中に恐怖と混乱をもたらしております新型コロナウイルス感染症がその一つでしょう。この度に罹患された多くの人々は生と死のはざまを体験され、また、その家族や医療従事者の方々の苦悩は言葉にさえない程の苦難を味合われたことでしょう。

また、人々はそれまでの生活様式が奪われ、新たな生活形態に移行することを余儀なくされ、大変な犠牲を強いられることとなりました。例えば、経済的な事柄であったり、仕事上の環境の変化であったりと、その苦労は数知れない程のことであると考えております。この状況そのものが悲嘆状況であり、只今の世界中の私たちは皆が悲嘆にあることを意識していることも大事ではないかと考えております。これにより生活の中でのイライラする感情が何によるのかが理解でき、自己理解ができることと考えております。また新型コロナウイルス感染終息後の生活形態がどのようになるのかが、新たな不安をもたらす要因ともなっていると思っております。これも一つの悲嘆状況であると思っております。

また一方で、各地での豪雨による被害が続いております。重ね重ねの災害による多くの人々の苦痛と苦難をケアすることの課題が、只今、私どもに課せられた事柄であります。

この様な災害が何時まで続くのか、予測がつかないことでもあり、ますます人々を不安に陥れることと思っておりますが、その様な時代にあって「悲嘆にある方にどの様に寄り添っていくのか」、この大きな課題について一緒に考えて参りたいと願っております。

◎コーディネーター プロフィール

熊本県生まれ。聖心女子大学文学部心理学卒業。上智大学神学部修士課程修了。博士(宗教文化)。現在、上智大学グリーフケア研究所特任所長。「生と死を考える会全国協議会」会長。「兵庫・生と死を考える会」会長。援助修道会会員。二十数年来、ターミナル(終末期)にある人々のスピリチュアルケア、及び悲嘆にある人々の心のケアに携わる一方、学校教育現場で使用できる「生と死の教育」カリキュラムビデオを制作。幅広い分野で全国的にテレビや講演会で活躍中。著書として、『喪失体験と悲嘆－阪神淡路大震災で子供と死別した34人の母親の言葉(医学書院)、『大切な人をなくすということ』(PHP出版)、『悲しみの乗り越え方』(角川書店)、『悲しんでいい～大災害とグリーフケア～』(NHK出版)、『それでも誰かが支えてくれる』(大和出版)、『それでも人は生かされている』(PHP研究所)など多数。

受講の流れ

1. 申し込み方法

申込みは、WEBエントリーとなります。

1 右記のURLにアクセスしてください。 <https://eipo.jp/griefcare/>

2 画面右上の「申込み」の方法 から予約の手順を確認の上、入力を行ってください。

3 申込みが完了すると、自動返信メールにて「申込完了メール」が届きます。

なおこの「申込完了メール」が届かなかった場合は、griefcare-seminor-ofc@sophia.ac.jpまでメールにてお問合せください。

2. 受講料のお支払い

申込みを受け付けた方に「振込依頼書」を郵送いたしますので、振込期限までに指定の銀行口座に受講料をお振込みください。

3. 受講可能通知メールの受け取り

受講料の入金を確認でき次第、「受講可能通知メール」をお送りします。ここでは、Zoomへの参加方法等についてお知らせいたします。

4. オンライン接続テストの実施

Zoom参加に不安のある方は、以下の日時にZoomで接続できるかチェックを行うことができます。

なお、オンラインテストは、お申込みが完了し、受講料をお支払い頂く前の期間であっても参加可能です。

2020年9月24日(木) 15時から16時 2020年10月3日(土) 15時から16時 2020年10月7日(水) 19時から20時

5. 受講料の減額制度について

申請される方の身分により減額措置が適用されます。金額は、送付される「振込用紙」でご確認ください。対象となるのは以下の方です。

- ・在校生……………上智学院が設置する学校の在校生が対象となります。
- ・在校生保証人……………上記在校生保証人・後援会会員及び3親等内の親族の方が対象となります。
- ・卒業生……………上智学院が設置する学校の卒業生の方が対象となります。
- ・グリーフケア人材養成講座受講生……………グリーフケア研究所が主催するグリーフケア人材養成講座の受講生が対象となります。
なお、グリーフケア人材養成講座の修了生の方は対象になりません。
- ・教職員……………上智学院が設置する学校の教職員の方が対象となります。退職者も含まれます。

6. 受講のキャンセルについて

お申込みが完了した後でも、ご事情により受講をキャンセルすることは可能ですが、状況によりキャンセル料が発生いたしますので、ご承知おきください。

なお、受講をキャンセルする場合は、必ずgriefcare-seminor-ofc@sophia.ac.jpまでメールにてご連絡ください。

申込み・問い合わせ

上智大学 グリーフケア研究所

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 TEL : 03-3238-3776

ホームページ <http://www.sophia.ac.jp/jpn/otherprograms/griefcare>

申込みによりご提供いただきました個人情報は、当公開講座の運営のみに使用し、上智学院個人情報保護に関する規程に基づいて取扱わせていただきます。本学院の個人情報の取扱いについては、<http://www.sophia.ac.jp/jpn/top/info/privacypolicy>をご参照ください。